

平成25年度当初予算 予算要求シート

整理番号	11 - 013	マスタープラン 3つの挑戦	子育て	マスタープラン 施策番号	1 - 6	局・課名	健康福祉局・障害者支援課
区分	新規・拡充						(単位 千円)

事業名	バリアフリー新法に基づく基本構想策定業務				平成23年度決算額	平成24年度予算額	平成25年度要求額
関連事業				事業費		0	7,292
				事業期間	H ~ H	全体事業費	
事業目的	<p>平成18年に施行された(通称)バリアフリー新法を用い、生活関連施設周辺の重点整備地区を選定、バリアフリー化のための計画を策定する。このことにより、地区のバリアフリー化を推進する。また、新法では既に旧バリアフリー法で策定された駅舎周辺地区の計画も検証、見直しが求められており、このことについての検討、整理も行う。</p>						
事業内容	<p>平成18年に施行された(通称)バリアフリー新法では、鉄軌道駅周辺地区だけでなく、生活関連施設周辺も整備計画を策定できるようになった。また、平成16年度の市町村合併により、新たに旧美原町が市域になったことで、過年度に設定された重点整備地区の追加または範囲の見直し検討が必要となっている。このことから、25年度、下記事業について実施を予定。</p> <p>(25年度、事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活関連施設を中心とした新たな重点整備地区の選定、地区のバリアフリー化のための計画策定を行う。計画策定では対象地域において住民、障害者等が参加、現地検証を行い、計画を策定。計画(案)は外部委員による有識者会議で更なる検討を行う。 H13~15年、旧法(交通バリアフリー法)で策定した本市「交通バリアフリー基本構想」の検証、整理を行う。 						
	今年度要求のポイント						
	<p>本計画策定は従前に策定された駅舎周辺地区の検証、見直しに加え、新たに公共施設を中心とした経路についても策定を行い、市内バリアフリー地域の拡充を図る。</p>						
	主要要求内容				(単位：千円)		
	項目	24年度予算	25年度要求額	内容・積算等			
	委託料	0	6,930	基本構想策定業務等			
	謝礼金	0	362	ヘルパー2名・手話通訳2名・要約筆記2名			
				119,200円			
				学識2名×6回×10,200円=122,400円			
				一般20名×3回×2,000円=120,000円			
	その他						
	合計	0	7,292				
スケジュール(経過及び今後展開)						その他 特記事項	
【経過(～24年度)】		【25年度】		【今後(26年度～)】			
過去に作成した基本構想の進捗整理		基本構想の策定		<ul style="list-style-type: none"> 基本構想の周知 整備関係機関に対する整備の依頼、進捗管理 			